

●特集. 2016 年 8 月 24 日 イタリア中央部の地震

（1）概要

2016 年 8 月 24 日 10 時 36 分（日本時間、以下同じ）にイタリア中央部（首都ローマの北東約 100km）の深さ 5 km で Mw6.2 の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレート内部で発生した。この地震の発震機構（米国地質調査所による CMT 解）は東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震の発生後、今回の地震を含め、M4.0 以上の地震が 20 回発生している（8 月 31 日現在）。

今回の地震の震源付近では、多数の建物が崩壊し、少なくとも死者 292 人、負傷者およそ 400 人等の被害が生じた。また、ローマやボローニャ、ナポリなどでも揺れが観測された。

最近の地震活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、M6.0 以上の地震が時々発生しており、2009 年 4 月 6 日には、今回の地震から南へ数十 km 離れた場所で発生したイタリア中央部の地震（Mw6.3）により、震源に近いラクイラ周辺で、死者 295 人以上、負傷者 1,000 人以上等の被害が生じた。

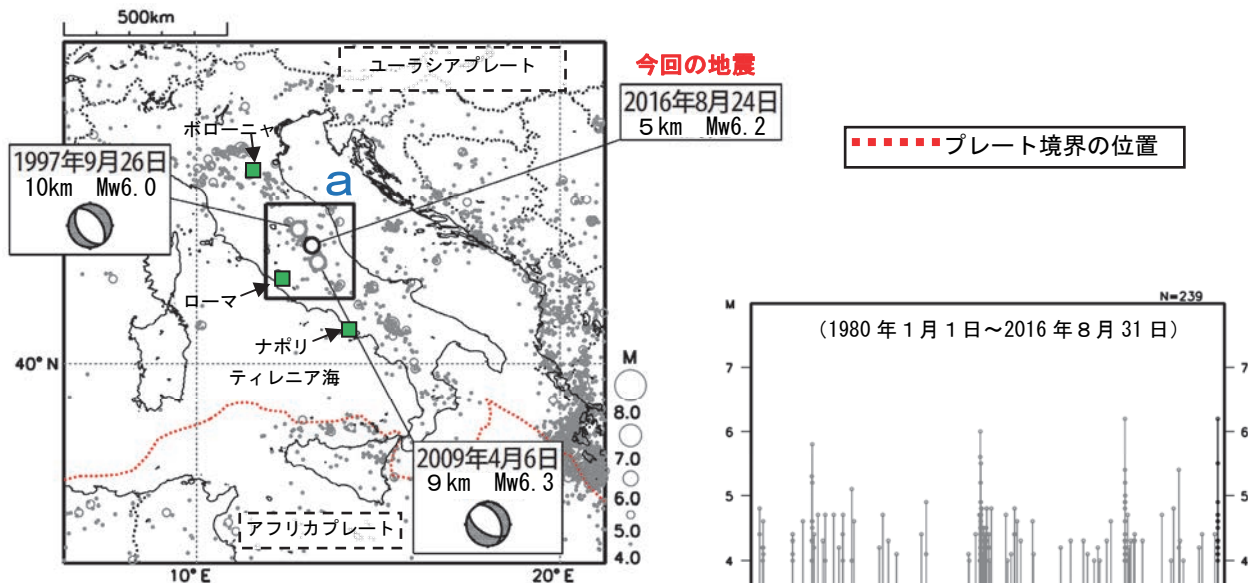


図 1－1 震央分布図
(1980 年 1 月 1 日～2016 年 8 月 31 日、深さ 0～100km、 $M \geq 4.0$)
2016 年 8 月の地震を濃く表示

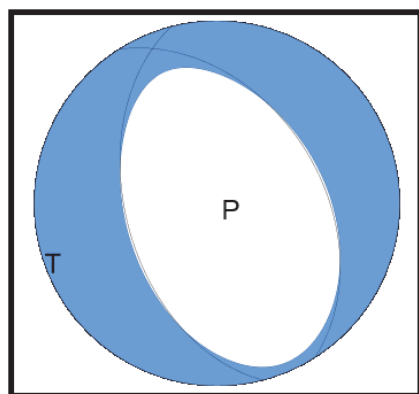


図 1－2 今回の地震の CMT 解（USGS）

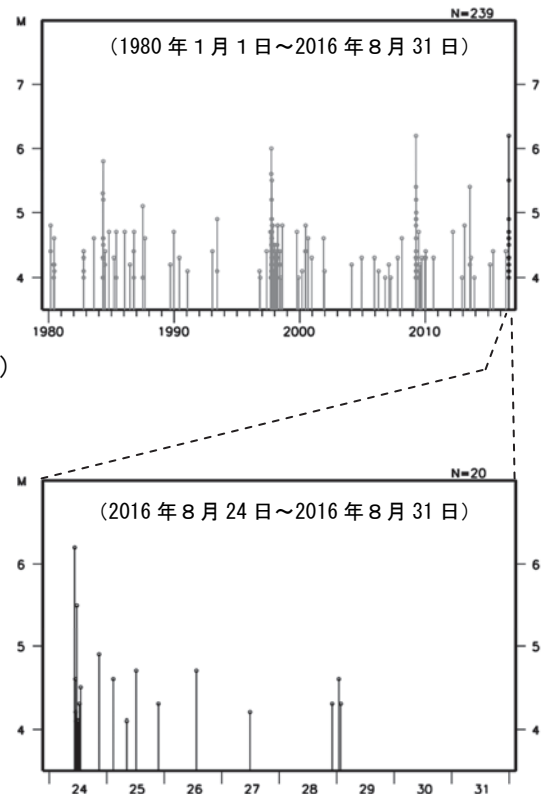


図 1－3 領域 a 内の M－T 図

※本資料中、震源要素と Mw 及び今回の地震の発震機構は USGS による。その他の地震の発震機構は Global CMT による。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による（2016 年 8 月 31 日現在）。また、2009 年 4 月 6 日の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.